



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 恒嗣
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 川上 英規
四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-385-7692

—

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	25,951	△1.8	1,068	4.8	1,172	3.0	696	△3.0
26年3月期第3四半期	26,414	4.3	1,019	18.7	1,138	16.6	717	17.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 800百万円(△3.0%) 26年3月期第3四半期 825百万円(28.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	19.93	—
26年3月期第3四半期	20.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	27,407	11,504	36.8
26年3月期	28,654	10,839	33.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 10,093百万円 26年3月期 9,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	△3.9	1,500	△4.5	1,650	△0.2	900	△8.1	25.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 ()、除外 一社 ()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	35,020,000株	26年3月期	35,020,000株
27年3月期3Q	86,566株	26年3月期	86,401株
27年3月期3Q	34,933,500株	26年3月期3Q	34,935,357株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融・財政政策効果の波及により金融市場は好転し雇用情勢も改善する一方、消費税率引き上げや円安に伴う物価上昇による個人消費の回復の遅れ、原油安にみられる世界経済の先行き懸念等、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は259億51百万円と前年同四半期に比べ4億63百万円(1.8%)の減収となりましたが、営業利益は10億68百万円と前年同四半期に比べ48百万円(4.8%)の増益、経常利益は11億72百万円と前年同四半期に比べ33百万円(3.0%)の増益となりました。しかしながら、四半期純利益は6億96百万円と前年同四半期に比べ21百万円(3.0%)の減益となりました。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業におきましては、酸素は造船・鉄鋼向けに、窒素はエレクトロニクス・半導体向けに、水素はエレクトロニクス・自動車関連向けに需要が増加いたしました。液化石油ガス及び石油類は需要が減少したことにより売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は152億51百万円と前年同四半期に比べ70百万円(0.5%)減少いたしました。営業利益は多賀城工場の大規模定期修理により原価高の影響を受けましたが、当第3四半期会計期間において一般高圧ガスの需要が増加したこと等により12億30百万円と前年同四半期とほぼ同額となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業におきましては、生活関連器具は個人消費の低迷により減少いたしました。溶接切断器具は大型機械の出荷が増加したこと等により売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は78億54百万円と前年同四半期に比べ1億44百万円(1.9%)の増加、営業利益は1億15百万円と前年同四半期に比べ16百万円(17.2%)の増加となりました。

その他事業

その他事業におきましては、自動車関連機器の設備投資需要が大幅に減少したことにより売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は28億45百万円と前年同四半期に比べ5億37百万円(15.9%)の減少、営業利益は2億44百万円と前年同四半期に比べ61百万円(20.2%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、274億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億47百万円減少いたしました。この主な要因は、電子記録債権が増加(10億61百万円)しましたが、受取手形及び売掛金が減少(27億11百万円)したことによるものであります。

負債は、159億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億12百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が減少(8億51百万円)したこと及び借入金が増加(5億60百万円)したことによるものであります。

純資産は、115億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億65百万円増加いたしました。この主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加(5億91百万円)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,128,619	4,071,872
受取手形及び売掛金	10,011,916	7,300,684
電子記録債権	997,038	2,058,581
商品及び製品	883,678	1,037,129
仕掛品	218,857	168,414
原材料及び貯蔵品	85,141	86,699
その他	343,335	360,622
貸倒引当金	△47,351	△54,313
流動資産合計	16,621,236	15,029,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,619,712	2,621,279
機械装置及び運搬具(純額)	1,239,045	1,279,682
土地	5,764,520	5,803,915
その他(純額)	514,550	609,692
有形固定資産合計	10,137,829	10,314,570
無形固定資産	189,186	192,391
投資その他の資産		
投資有価証券	1,082,123	1,195,593
その他	754,181	793,949
貸倒引当金	△129,645	△118,585
投資その他の資産合計	1,706,658	1,870,958
固定資産合計	12,033,675	12,377,920
資産合計	28,654,911	27,407,611
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,509,734	6,658,443
短期借入金	5,430,412	4,812,076
未払法人税等	385,660	219,003
賞与引当金	314,776	161,645
役員賞与引当金	16,530	1,420
その他	1,176,655	1,072,551
流動負債合計	14,833,768	12,925,139
固定負債		
長期借入金	1,072,024	1,129,904
役員退職慰労引当金	431,189	397,132
退職給付に係る負債	1,205,498	1,192,385
資産除去債務	5,161	5,233
負ののれん	3,149	1,669
その他	264,374	251,233
固定負債合計	2,981,397	2,977,558
負債合計	17,815,166	15,902,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	905,452	905,452
利益剰余金	6,213,008	6,804,264
自己株式	△8,882	△8,911
株主資本合計	9,370,578	9,961,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,361	131,953
その他の包括利益累計額合計	89,361	131,953
少数株主持分	1,379,803	1,411,155
純資産合計	10,839,744	11,504,913
負債純資産合計	28,654,911	27,407,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	26,414,914	25,951,245
売上原価	19,349,662	18,705,957
売上総利益	7,065,252	7,245,287
販売費及び一般管理費	6,045,656	6,177,213
営業利益	1,019,596	1,068,073
営業外収益		
受取利息	1,169	947
受取配当金	12,218	12,306
受取賃貸料	61,300	56,497
持分法による投資利益	51,444	28,099
負ののれん償却額	2,792	1,480
その他	68,967	67,897
営業外収益合計	197,894	167,228
営業外費用		
支払利息	65,629	51,691
手形売却損	2,098	—
賃貸費用	8,789	7,146
その他	2,429	4,251
営業外費用合計	78,947	63,089
経常利益	1,138,542	1,172,212
特別利益		
固定資産売却益	11,716	16,822
投資有価証券売却益	199	—
補助金収入	88,358	21,825
負ののれん発生益	104,923	15,861
特別利益合計	205,197	54,508
特別損失		
固定資産除売却損	19,255	8,426
固定資産圧縮損	73,657	—
特別損失合計	92,912	8,426
税金等調整前四半期純利益	1,250,827	1,218,295
法人税等	476,232	472,994
少数株主損益調整前四半期純利益	774,594	745,301
少数株主利益	56,911	49,109
四半期純利益	717,683	696,191

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	774,594	745,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,344	53,289
持分法適用会社に対する持分相当額	903	2,182
その他の包括利益合計	51,247	55,471
四半期包括利益	825,842	800,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	757,359	738,782
少数株主に係る四半期包括利益	68,482	61,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,322,516	7,709,406	3,382,991	26,414,914	—	26,414,914
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,322,516	7,709,406	3,382,991	26,414,914	—	26,414,914
セグメント利益	1,231,316	98,209	306,577	1,636,103	△616,507	1,019,596

(注) 1 セグメント利益の調整額△616,507千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ガス関連事業」セグメントにおいて、連結子会社が自己株式を取得したこと等により、負ののれん発生益を当第3四半期連結累計期間において100,994千円計上しております。

「器具器材関連事業」セグメントにおいて、子会社株式の取得により、負ののれん発生益を当第3四半期連結累計期間において3,928千円計上しております。

なお、特別利益に区分されるため上表には含まれておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,251,863	7,854,333	2,845,047	25,951,245	—	25,951,245
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,251,863	7,854,333	2,845,047	25,951,245	—	25,951,245
セグメント利益	1,230,474	115,086	244,604	1,590,165	△522,091	1,068,073

(注) 1 セグメント利益の調整額△522,091千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。